大阪大学経済学研究科/経済学部

部局間協定校派遣生の海外留学体験

１．基本情報

体験談記入日（☆）	2025 年　8 月　29 日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	大阪大学経済学部経済経営学科
留学時の学年（☆）	２
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	□　交換留学　□　研究留学助成金 □　その他　（　）
渡航先国名・地域名（☆）	ドイツ連邦共和国
滞在都市（☆）	フランクフルト
留学先大学等名（☆）	ゲーテ大学
留学先での所属学部/研究科（☆）	経済学部
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日（☆）	2024 年　8 月　31 日
渡航先からの出国日（☆）	2025 年　8 月　14 日
渡航先国での滞在期間（☆）	1 年
同伴者の有無・続柄・年齢等	なし
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	ほとんどいない

成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	経済学部の講義形式のものは期末試験による評価のみ
履修科目の制限等（あれば）	
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	現地学生はほぼ全員英語を流暢に話すため、大学での使用言語は 9 割英語。 英語開講の授業は基本的に学部 4 年生向けの授業がほとんどなため、注意が必要。
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	学食がキャンパス内に５個くらいあり、授業がある日はほとんど毎日利用していた。
図書館について	キャンパスに５つくらいあり、テスト前は毎日利用していた。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	留学支援のオフィスがあるので、なにかあればそこで相談できる。
オリエンテーション等学校主催の行事について	
現地の学生との交流について	授業内で親しくなったり、タンデムパートーナーとして交流したりした。
他の留学生との交流について	現地でできた友人のほとんどは留学生だった。授業内や ESN のイベントなどで出会うことがほとんどだった。
学外での活動について(地域コミュニティー活動等)	アメリカ人の現地コミュニティに参加し、定期的に野球をしていた。 シェアハウスのルームメイトと出かけていた。
長期休暇中の過ごし方	海外旅行。現地でできた友人の帰省に同行。
その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	滞在許可証
ビザの取得手続について（申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	ドイツ入国後 90 日以内にビザの申請をしなければならない。ビザ面談の予約をとるのも、面談後の受取までもとてつもなく時間がかかる。入国後できるだけ早く予約を取ることをお勧めします。
利用航空会社	カタール航空
入国の際の現地空港名	フランクフルト国際空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	パスポートを提示するだけで、特に質問などはされなかった。
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	有　　無
奨学金名	
奨学金月額受給額（円）	
入国時に用意した金額	
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	
留学中に利用した銀行名	
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	
日本からの送金方法について	
1ヶ月の生活費（目安）	
その他	

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮（一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	シェアハウス
家賃	500€
住居を探した方法・時期	2024 年 6 月ごろから

荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	ハンドキャリー
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	基本的に昼食は学食を利用し、夕食は自炊。
1ヶ月の食費	
その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	プリペイドシムを現地で購入(ja! Mobile)
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	
郵便について	
交通機関について	大学に semester fee を払うと、公共交通機関を好きなだけ乗れる定期券が支給されるため、その定期券を利用。
治安について	フランクフルト中央駅周辺は治安が悪いが、それ以外は基本的に心配する必要はない。
保険について	TK を利用
医療機関・薬について	
気候と服装について	日本より涼しい。
普段の買い物について	
娯楽・行事について	
日本語の使用について	ほとんど使わなかった。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	常備薬。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	英語を話す練習。
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研	

究、就活サイト登録等）	
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	夏休み中に開催されるインターンシップに参加するための選考に 6 月ごろから参加。

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	
留学中の学習方法、工夫したこと等	とにかく話す。友達とたくさん遊びに行く。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	英語で人と話す分には自信をもってできるようになった。

８．その他

留学して得られたこと	語学力。さまざまな国出身の友人。さまざまな価値観
留学中に困ったこと	日本食が恋しくなる。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

この交換留学は、旅行も含めた初めての海外滞在でした。そんな私にとってこの一年間はすべてが刺激的で、新しく忘れられない経験でした。

高校在学時から留学をしたいと考えていて、大学入学後もその気持ちは持ち続けていました。しかし計画などは立てておらず、ただ留学したいという漠然としたイメージが頭の中にあるだけでした。私にとっての転機は、学部の友達が 1 年の夏休み明けくらいに留学の説明会に行ってきたということを聞いたときです。その時に「今留学に行かなければもう行かないかもしれない」と思い立ち、留学に必要な手続きを急ピッチで進め、2 年生の秋学期から 1 年間の交換留学に内定しました。

2024 年 3 月に留学が内定した後留学開始まで 5 か月あり、語学の勉強や経済学を英語で復習する時間がたくさんありました。しかし、僕は特にそのような準備をすることはなく 5 か月を過ごしてしまいました。留学が始まった後に、少しでも語学の練習をしておけ

ばよかったと後悔したことを覚えています。

学期が始まる 10 月の前に 3 週間ドイツ語の授業があり参加しました。そこが私にとって初めての友人を作るチャンスでした。ですから、授業の初日に留学生が集まるイベントに参加しようとクラスメイトにそのイベントの開催場所を聞こうとしました。しかし、その簡単な質問すらも英語でうまく聞くことができず、自分の英語力のなさを痛感しました。これが留学開始後、初めてにして最大の挫折だったと思います。

このような挫折から 1 週間ほどは人と英語やドイツ語で話すのが怖くなり、できるだけ人と会わないようにしてしまいました。しかし、1 人で家に帰っている道で、このまま人と会うことを避け続ける留学生活で良いのかと思い、そこからとにかく人と会おうと決心しました。

僕が留学生活を楽しむことができるようになったのはその頃からです。素晴らしい友人に恵まれ、その友人たちとほぼ毎日会いました。その中で毎日のくだらない話から文化の違いについてまで話しました。このような日常生活の中で僕の英語力は効果的に伸びたのかなと思います。

現地で履修した経済学部の授業は基本的に学部 4 年生向けの授業でした。ですから、日本語で受けても履修したとしてもかなり難易度が高いものばかりでした。それに加え、自分の経済学の語彙の乏しさや英語を聞き取る力が足りていなかったため、初回授業に出席した時に単位を取れる気がしないと絶望したことを鮮明に覚えています。しかし、毎週末に予習復習する時間を作ったり、テスト前に図書館に籠って勉強したりしたことで何とか単位を勝ち取ることができて良かったです。履修した授業の中には、金融都市であるフランクフルトにある大学であるため、ECB で働いている客員教授の講義を受けることができたり、ドイツから見た他国の経済を分析したりするなど、ゲーテ大学ならではの授業がありました。

また、1 年間の留学中にたっくさんの国に旅行に行きました。現地でできた友人と旅行に行ったこともちろんとても楽しかったですが、僕のお気に入りの旅の方法は 2 通りあります。1 つ目は一人旅です。一人で旅するときは必ずホステルに宿泊し、そこで滞在している人と交流しました。世界のいろいろな国からきた人と自分の経験や考え方を話したり、仲良くなった人と一緒に観光したりしました。2 つ目は、留学中にできた友人の国を訪ねることです。いわゆる観光地を巡るのではなく、現地住民の人々がいくような場所を訪れることで、その国や地域の文化や生活を体感することができました。このような経験はどんな観光地を巡るより素晴らしい思い出になりました。

留学に行くまでは、語学力の向上や、就活のネタになるというのが留学のイメージでした。このイメージが間違っているとは思いませんが、私がこの留学を通して得たものはなんだろうと考えたときに一番に言いたいことは、様々な背景をもつ人と出会い様々な価値観に触れる事ができたことです。僕が 20 年間生きていた中で形成されてきた “当たり前”と似ていたり、まったく異なっていたりする考えに触れる中で、今まで自分の物差しだけ

で物事を判断していたことに気づかせてくれました。1つの物事を自分の常識だけで判断するだけでなく、様々な角度から捉えようとする姿勢は、これからの人生の中でも大切にしたい価値観になったと思います。

留学にいくかどうか迷っている方がいたらぜひ挑戦してほしいです。もちろんすべてを自分で解決しなければならないため大変なことはたくさんありますが、その大変なことさえも、素晴らしい経験になると思います。